

# Application for Participation

## Associated School Project (ASP) for Promoting International education

### 環境への意識を高め、地域への思いを深めよう

#### 1 Description of the Project (プロジェクトの概要)

本校は、2003年度より「みどりを育て、みどりから学ぶ活動」に取り組んでいる。学校林や校内の竹林をフィールドとし自然への働きかけ、その恵みを受けると共に環境維持の取り組みを継続している。とりわけ学校の果樹園を活用した「家族の木」の活動は、1家族が1本の木を育て、家族と共に自然に関わるものであり、長い取り組みにより親が小学生のころ育てた木を子が引き継ぐという事例も出てきた。また子どもたちは、学校林の活用や保護の活動を進める中から人間が手を加えなければ荒れていく自然の流れも実感してきた。人間が活用することと自然破壊は同じではなく、どう活用するかという手段を考えることで環境の維持と活用の共存が図られる。このことを学ぶ場と機会が本プロジェクトであり、この取り組みによって子どもたちは環境意識を高め、地域への思いを継続的に深めていく。

#### 2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、学校、地域の人、もの、ことを「環境」ととらえ、環境と正しく関わり環境をよりよく変えることとその有効活用を体験しながら持続可能な社会作りを学ぶ。

主な活動の柱は以下のとおりである。

##### (1) たけのこフェスタ

学校の竹林で育つたけのこを味わい、自然の恵みに感謝する。地域の多くの人たちと交流する温かさと楽しさを知る。

##### (2) 豊南フェスタ

学校の森林や竹林、池や湿地で子どもたちが活動したり学んだりしたことを生かして楽しむワークショップを実施しながら、地域の人と交流する。

##### (3) 家族の木の活動

本校の果樹園には、1家族で1本の果樹を植えている。定期的にこの木を観察したり、世話をしたり果実を収穫したり家族で話題にしたりし、自然への直接的精神的な関わりを促す。

##### (4) 環境維持とその活用

学校林でしいたけ栽培を行いながらしいたけが育つ環境を維持していく。また、湿原や竹林の維持や管理とその活用について体験的に学習する。

#### 3 Execution (プロジェクトの実施)

本校にある森林、竹林、果樹園、水田、耕作園、湿地を中心的なフィールドとして下記の活動に取り組み目標にせまる。

ESDカレンダー											
Month	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
	・たけのこフェスタ ・しいたけ設置			・田植え			・豊南フェスタ ・稲刈り			・湿原草刈り ・しいたけ植菌	
	果樹観察・世話・収穫										

### (1) たけのこフェスタ

学校の竹林管理を継続し、春先に育ったたけのこを児童が収穫する。PTA 役員が調理してたけのこごはんをつくり、地域の方々を学校へ招待してもてなす。この活動により自然の恵みに感謝するとともに、地域の多くの人たちと交流する温かさと楽しさを知る。



### (2) 豊南フェスタ

学校の森林や竹林、池や湿地の維持管理を継続し、これらの場やここで学んだことを生かして子どもたちがワークショップを開く。地域の人たちを招待し、地域環境の良さを伝え交流する。



### (3) 家族の木の活動

本校児童が、1家族で1本の果樹を植え育てていく。有機肥料を与えたり除草、剪定を行ったりしながら果実を収穫する。



#### (4) 環境維持とその活用

上記の活動を継続するためには、それぞれについての維持管理や子どものための安全対策が必要である。子どもたち自身で、また職員やPTAが維持管理作業にあたっていく。また、学校林でしいたけ栽培を行いながらしいたけが育つ環境を維持していく。また、湿原や竹林の維持や管理とその活用について体験的に学習する。



#### 4 Type of materials to be used (使用する教材)

図鑑、ノート、のこぎり、くわ、スコップ、電気ドリル、

#### 5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on pupils' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する児童の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・児童の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・ポートフォリオ評価により活動に関する記録を累積し取り組み状況を把握する。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコ ASP の参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそって ASP に貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年 ASP コーディネーター (※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会) に活動のレポートを提出します。

2015年7月21日

(校長名)

村田 司

(役職)

校長

(学校名)

豊橋市立豊南小学校